

## 質問への回答書

次のとおり回答いたします。

	質問内容	回答	資料名及び ページ番号
1	参加者が使用するスマートフォンまたはタブレットについては、参加者各自のものを持参頂く認識でよろしいでしょうか？	お見込みの通りです。	「仕様書」3(1) ワークショップの開催
2	「生成AIを活用して」とありますが、生成AIを活用する意図をご教示頂けますか？	生成AIを活用することで、参加者の固定概念を外して発想を飛躍させ、既存の延長線上にはないアイデアを生み出すことを狙いとしています。	「仕様書」3(1) ワークショップの開催
3	ワークショップの開催時期について、8月上旬および8月下旬の実施後、翌年の2月上旬と期間が空きますが、実施時期の設定に何か意図があればご教示ください。	主な参加者である大学生が参加しやすいよう、長期休暇期間にあたる時期を想定しています。また、8月に実施したワークショップについてフィードバックを行い、より効果的な内容に改善して2月のワークショップを実施したいとの意図によるものです。	「仕様書」3(1) ワークショップの開催
4	「募集・広報は主に甲が行う」とありますが、参加者からの申込受付・連絡調整は山形市側で行うのでしょうか？受託者側で参加者と個別に直接連絡調整を行う場面は想定されますか？	参加者の募集、申込受付、ワークショップ開催までの連絡調整は甲が行いますが、ワークショップ開催後の振り返り（3-（2）参照）実施に必要な参加者との連絡調整は乙が行うことを想定しています。	「仕様書」 4 PR・広報方法
5	実施するアンケートは、主にどのような内容を分析するためのものでしょうか？（満足度など）	アンケートは、ワークショップの内容に関する項目（満足度、改善点等）の他、若者への効果的な周知方法、どんなイベントなら参加しやすいと思うか等について意見を採りたいと考えています。	「仕様書」 5 開催後のアンケート